



陽光

令和6年12月17日 第18号 文責 梶原 圭一



部落差別をはじめあらゆる差別をなくす菊陽町人権子ども集会

12月7日(土)に「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす第40回菊陽町人権子ども集会」が行われました。本校からは、子どもたち、保護者及び教職員を合わせて200人以上が参加し、参加した一人ひとりが自らの人権意識の高揚を図るとともに、人権が尊重される人権共存社会の実現を目指して学び合いました。

この集会を開催するにあたっては、中学生をリーダーとする実行委員会が9月から話し合いを重ねてきました。本校からは人権委員会の子どもたちが実行委員会に参加し、宣言文の検討を行ったり、校内放送で参加の呼びかけを行ったりしてきました。

本校からは4年生が人権学習等で学んだことを基にしながら自らの生活と重ねて考え、感じたことをステージで発表しました。参加された方々から、4年生の発表内容や態度のすばらしさをたくさん褒めていただきました。他校の発表も心に迫る素晴らしい内容ばかりで、参加した子どもたちにとって、多くの学びがあったと思います。発表に対して返しの発言を積極的に行う子どもも多く、心が温かくなると同時に、子どもたちを頼もしく感じました。

この集会に参加したすべての人たちが、次の三つのことを宣言しています。この言葉の重みをみんなで考え、私たち一人ひとりが日々の生活を見つめ直していかねばならないと強く感じています。



- 自分や家族の暮らし、周りを見つめ、おかしいことに気づき、なくしていきます。
- なかま・家族の思いをしっかりと聞いて、自分の思いを出し、伝え合っていきます。
- いじめ・差別を許さない、差別をなくすなかまとして、つながり合っていきます。

オープンスクール 家庭教育学級 お世話になりました

12月13日(金)に行いましたオープンスクールは、たくさんの保護者の方々に子どもたちの授業を参観していただき、ありがとうございました。性に関する授業を行う学年や修学旅行、水俣に学ぶ肥後っ子教室で学んだことをグループごとに発表する学年もありました。中には図工の時間を計画し、保護者の方々の協力を得ながら作品づくりを行った学年もありました。子どもたちが、日々の学習を頑張っていることを感じていただけたのではないかと思います。

その後行いました家庭教育学級講演会では、講師に著書「はなちゃんのみそ汁」で有名であり、全校各地で講演が行われている 安武 信吾 様をお迎えし、『**食べることは生きること**』という演題でお話いただきました。改めて、家庭での食育の大切さを感じました。映像やお話を聞きながら、私自身も子育てや自らの生き方を考えるよい機会となったと感じています。



地域の方々のご協力により迎春準備が整いました

12月14日(土)に、PTA執行部やOB会の方々のご協力により、玄関に立派な門松を設置していただきました。門松を作って設置するにあたり、事前の準備や当日の作業など、たくさんの方々にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

出来上がった門松を改めて見ながら、新しい年が近づいていることを感じます。それと同時に、新しい年が子どもたちや保護者、地域の方々にとって、よき1年になることを願っています。



<今後の主な予定>

- 1月 8日(水) 後期後半開始式
- 1月14日(火)～1月20日(月) 給食週間
- 1月23日(木) 文化芸術による子ども育成推進事業(4・5年生参加)